

External Skeletal Fixation

アイメックス

IMEX SK リニア創外固定器

SKリニア ミニチュア

SKリニア スモール

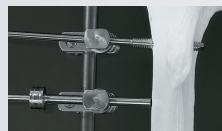
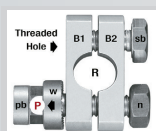
■ポジティブピン(陽性ネジ山ピン)

- ピン軸(シャンク)径よりも、太くネジ山を立てているため、従来のエリスピンやスムーズピンに比べ、強度、固定力の持続性に優れています。



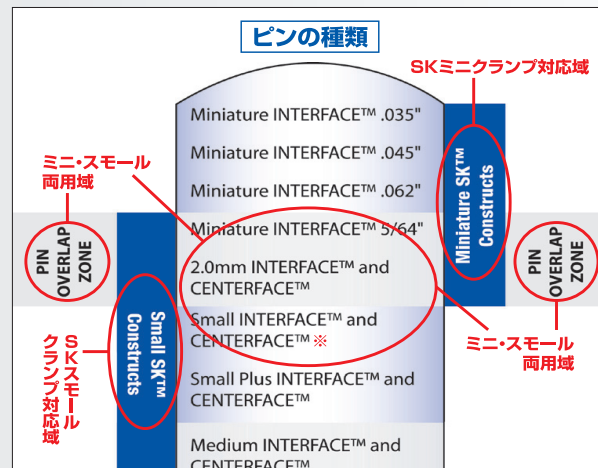
■SKクランプ

- クランプボルトのピンを把持する孔は、許容径のポジティブピンが通過する大きさで、更に専用ドリルガイドを装着できます。そのため、クランプをつけた状態で、ピン刺入位置に正確かつ容易なブレードリングへピン刺入を行えます。



ブレードリング

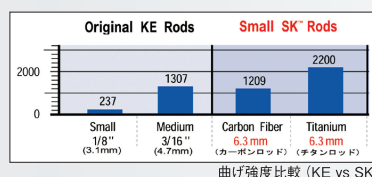
- クランプは分割式なため、ロッドを左右から挟むように取り付けることができます。フレーム構築の手順がシンプルになるほか、術後のピン追加、あるいは除去も容易なので骨折部に対する負荷コントロールを容易に行える利点があります。
- クランプのサイズ毎に、装着可能なピンの種類が幅広く、更にシャンク径2.0mm、2.4mmのピン(Small)はミニ、スモールいずれのクランプでも把持可能です。初期には大きいサイズのクランプ/ロッドでより強固な固定を行い、治癒に伴って小サイズのフレームに変更し、安定性を段階的に低下させることができます。



※シャンク径2.4mm (Small) はネジ山を通過しません。

■SKロッド

- 従来のKE式に比較して、径の増大により、曲げ強度を大幅にアップさせました。更に、軽量のカーボンと、強度に優るチタンの、材質と特性の異なるロッドを選択できます(スモール)。初期にはチタンロッドで強固に固定し、治癒にともないカーボンに変更することにより、安定性を段階的に低下させることができます。



曲げ強度比較 (KE vs SK)



チタンとカーボンの2種のロッド

アイメックス

IMEX SK ハイブリッド創外固定器

SKハイブリッド ミニチュア

SKハイブリッド スモール

- ◎細径ワイヤーは狭い範囲での固定が可能のため、骨分節の短い骨幹端骨折、関節近傍部骨折など、リニア創外固定器用のピンや骨プレートの適用が困難なケースに有効です。

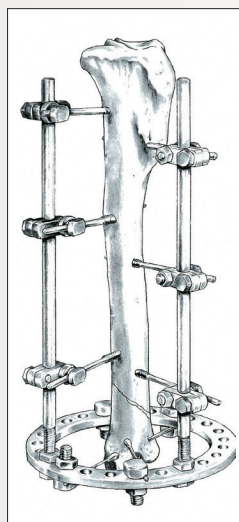
- ◎骨分節の短い骨幹端骨折の固定をはじめ、経関節固定術、変形矯正に有効とされています。

■SKハイブリッドロッド

- SKリニア創外固定器のロッドを、ハイブリッドロッドに変更することにより、容易にハイブリッドフレームを構築できます。

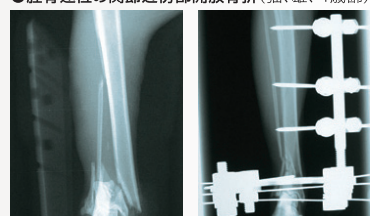


ハイブリッドロッド



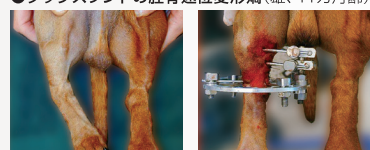
参考症例

- 脛骨遠位の関節近傍部開放骨折(猫、雄、4歳齢)



術前 術後
Type1-aハイブリッド創外固定器で固定。

- ダックスフンドの脛骨遠位変形(雄、11カ月齢)



脛骨異形成症外観 ハイブリッド創外固定器装着
脛骨遠位の進行性内反変形の骨切術をハイブリッド創外固定器で固定。

アイメックス

IMEX サーキュラー創外固定器

サーキュラー ミニチュア

サーキュラー レギュラー

- ◎細径ワイヤーは狭い範囲での固定が可能のため、骨分節の短い骨幹端骨折、関節近傍部骨折など、リニア創外固定器用のピンや骨プレートの適用が困難なケースにも有効です。

- ◎粉碎骨折、開放骨折の固定から、癒合不全、骨延長、変形矯正まで幅広く応用されています。



リニアディストラクションモーター

